

市民の皆様へ

HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）に興味を持ち、豊田加茂医師会のHPを訪ねてくださりありがとうございます。HPV ワクチン（子宮頸がんワクチン）について学ぶ機会を持てただけただけのことを大変喜ばしく思います。

科学的根拠に基づく情報発信がなされており、マンガ絵や動画もあり、なじみやすいとの理由で2つのリンク先を掲載させていただきました。

一つ目にキヤンサーネットジャパンのリンク先を張り付けておりますが、さまざまな「がん」について予防や疾患についての科学的根拠に基づいた情報が掲載されております。

子宮頸がんに関しましては「ティール&ホワイトリボン(TWR)プロジェクト」のページで詳細な知識を獲得することができます。特に「子宮頸がんに関するセミナー動画」ではHPV ワクチンの有効性や子宮頸がんを経験された方の生の声を動画で視聴することができます。是非とも視聴いただきたい内容です。

もう一つのリンク先は「みんなピピ」です。

「みんなピピ！」は、HPV（ヒトパピローマウイルス）感染症および HPV ワクチンに関する正確な情報を広めるためのプ

プロジェクトとして、2020年に産婦人科医や小児科医たちによって立ち上げられました「みんなパピ！」の主な目的は、HPVワクチンの有効性と安全性について科学的根拠に基づいた情報を提供し、適切なワクチン接種を促進することです。特に若い世代やその保護者に向けて、HPV感染症の予防方法について学ぶ機会を提供していただいています。

さて、豊田加茂地区のある基幹病院ではキャッチアップ世代に該当する新規採用職員の方たちが、産科医師の呼びかけで接種に対し前向きになったとの報告があります。

身近に信頼できる専門の医師がいたことが大きいと考えますが、今の時代、インターネットであらゆる情報を得ることが可能です。繰り返しになりますが、お示ししたリンク先の情報は十分に信頼に値するものと考えます。得た情報のなかには難しい部分もあるかと思いますが、接種をしてくださる先生に疑問をぶつけてみてください。

接種後の副反応についてお話します。

過去にメディアで報道された副反応の疑いである「多様な症状」※の一部は予防接種ストレス関連反応である可能性があり、10代の女子に起こりやすいことも広く知られるようになりました。※広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてし

まうこと)

よくある副反応として接種部位の痛みや腫れ、赤みなどの症状が知られています。まれですが、明らかな因果関係のあるものとしてアナフィラキシー（呼吸困難やじんましん、手足の力が入りにくい、頭痛・嘔吐・意識低下）が起こることがあります。ワクチンが原因となったものかどうかわからないものをふくめ、接種後に重篤な症状として医師や企業から報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり約1.79件とされます。注射の痛みストレスが原因とも考えられる「多様な症状」に対する認知行動療法的なアプローチの有効性が示されました。現在ではワクチン接種後診療支援ネットワークが構築され、接種後の体調不良に対して速やかな診療連携が可能となっています。

一般社団法人 豊田加茂医師会